

「タクシー会社に対する高齢就労者支援事業」



一般社団法人 宮崎県理学療法士会

事業目的

- 高年齢就労者の身体機能を改善することにより、交通事故を未然に防ぐ一助となるようにする。
- 高齢就労者の業務に対する身体的不安を拭い、少しでも継続的に就労できる身体環境の整備に繋げる。
- 高年齢労働者の就労支援に関して、理学療法士の役割を明らかにし、今後のタクシー業界への支援を広げるきっかけとなるように事業展開する。

年度目標

(2023年度)

高年齢労働者の就労支援に関する事業について、宮崎県士会としての取組を計画し実行していくことで、タクシー業界の高齢就労者を支援する

(2024年度)

次年度は、今年度の反省なども踏まえ、実行した事業をさらにブラッシュアップし実現性のあるものにしてゆく

高年齢労働者の就労支援に関するモデル事業

(選定理由)

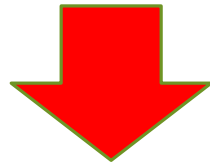
タクシー業界は、就労者の高齢化が進んでおり、多くの会社では65歳以上の就労者が50%を超えている現状がある。業務特性上、座位姿勢を長時間取ることが多く、腰痛や身体機能低下を来している職員も少なくないことが予想される。高齢者の就労支援をすることで、タクシー業界の今後の支援の方向性を確立していくことが出来る。

課題

- ・ 就労形態が、朝・昼・夜とまちまちであり、勤務時間帯に応じた対応が必要となる
- ・ 私たち理学療法士の、通常の業務がある中での関わりとなるため、継続して行うためにはスタッフの負担は最小限にする必要がある。
- ・ 就労者への説明が不十分になる可能性がある

課題克服に向けた取り組み

- コミュニケーションを取りながら、時間・場所にとらわれない形での運動指導システムの構築を検討
- タクシー業界の勤務体系に対応した運動指導システムが必要



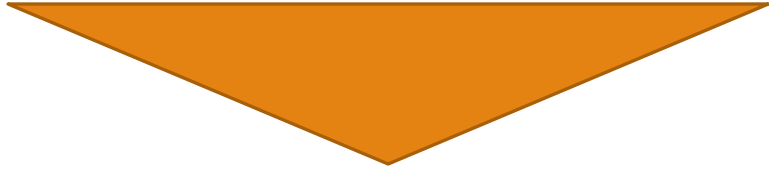
ICT技術を利用した運動指導システムの導入

協力事業者の選定

- ◆宮崎県タクシー協会へ出向き、高齢就労者支援事業に関する概略を説明。
- ◆宮崎県におけるタクシー事業者での高齢就労者の問題を聴取。
- ◆事業に協力して頂ける事業所を数件ご紹介いただいた。
- ◆その中から1事業者に絞り、所長と取締役営業部長に事業への協力を依頼し、快諾を得た。
- ◆65歳以上の高齢就労者が60名くらい在籍しているため、その中から希望者15名を募り、対応する予定。

宮崎県におけるタクシー業界の現状

- ◆ 高齢就労者の割合が非常に高く、どの事業所も65歳以上の就労者が50%を超えている。
- ◆ 高齢ドライバーの事故も散見される。
- ◆ ドライバーの数も激減しており、保有しているタクシーが20台以上稼働していない状態。



高齢就労者への支援は急務

リハサクとは？

『リハサク』は患者様のセルフエクササイズをサポートするwebサービスです。

セラピストサイド



動画を患者に送信

患者サイド



痛み・実施率を共有

- ◎ カスタマイズされた運動メニューを動画で視聴可能
- ◎ 運動実施の記録が可能
- ◎ 日々の痛みの経過を記録し、担当セラピストへ共有可能

1 運動メニュー動画で院内指導 & 患者のスマホへ送信



施設内での活用



- ・ 自宅での運動が続かない患者へ提案
- ・ セラピストの生産性向上 (自動で収益化)
- ・ 待ち時間の削減 (別患者の施術中に再生)

自宅での活用



- ・ ご自宅での運動実施率を向上
- ・ サブスクでの収益化に活用
- ・ 患者の満足度・再診率を向上

2 疾患ごとの文献閲覧機能



REHASAKU

お名前 キリナイ シュウヘイ 様 生年月日 1989年10月29日 診療券番号 10649 診察終了

ダッシュボード
患者一覧
運動実施状況
パッケージ検索
メニュー検索
オリジナル作成
チャット
お役立ち/セミナー
個人設定
施設設定
ヘルプ
リハサク管理
株式会社リハサク

選択済みのパッケージ

診断名: 腰椎椎間板ヘルニア 症状名: 動作を継続した(長時間の歩行など) エビデンスを見る

運動メニューの作成

クロスエクステンション 両脚ヒップリフト 坐骨神経モビライゼーション 大殿筋ストレッチ (背臥...)

難易度 ★★☆☆☆ お気に入り 開

30回 3セット 10回 3セット 10回 3セット 10秒 10セット

関連した運動に変更する

腰椎椎間板ヘルニアのエビデンス

Herniated lumbar disc--

著者
Jordan J, Konstantinou K, O'Dowd J.
雑誌名
BMJ Clin Evid.
巻号
2011, pii: 1118.
年次
2011

An evidence-based clinical guideline for the diagnosis and treatment of lumbar disc herniation with radiculopathy--

著者
Kreiner DS, Hwang SW, Easa JE, Resnick DK, B...
P 2nd, Fernandez R, Ghiselli G, Hanna AS, Lamer J, L...
Mazzoni DJ, Moagher RJ, Nurci RC, Patel...

エビデンス確認機能
パッケージを作る際に参考にした
文献を確認

疾患ごとにエビデンスベースの運動メニューをご提案

① 痛みの記録



初回ログイン後に痛みの部位選択・痛みの程度(0-10段階)・痛みのメモを入力しましょう。入力した内容はセラピストに共有され治療を進めていく上で役立ちます。

② 目標設定



可能な範囲でご自身の運動実施目標を設定しましょう。【目標を設定する】をクリックし、週7日間のうち何日間運動を行うかを事前に登録しましょう。登録することで日々の運動実施記録に応じて進捗状況が確認できます。

③ 動画の視聴



解説動画を視聴する場合は、各メニューの【詳しく見る】をクリックしましょう。解説動画で運動方法を覚えた場合は、【以下の動画をまとめて再生する】をクリックしましょう。動画に合わせて一緒に運動することができます。

④運動実施記録



運動終了後は実施記録を入力しましょう。各メニューの横にあるアイコンをクリックすることで日々の実施記録をつけることができます。この情報はセラピストにも共有され治療の効果判定にも役立ちます。

⑤チャットの確認



セラピストからメッセージが届いている場合は、チャットマークにオレンジ色の点を確認できます。内容を確認し、返信を行うことでご自宅にいながらセラピストとコミュニケーションをとることができます。

具体的方法

- ◆ 対象者に対し、初回は対面での運動指導を実施
- ◆ その後はシステムを見ながらご自宅で運動実施
- ◆ その実施内容を「リハサク」に記録してもらう
- ◆ 不明な点はシステム内のチャットもしくは
LINE（公式アカウントを作成予定）にてフォローする
- ◆ コミュニケーションを取りながらフォローしてゆく

事前調査

【実情把握の目的でアンケートを実施】

- 日本理学療法士協会のアセスメントシートを使用
- 腰痛予防に関するアンケート調査を実施
- プレゼンティーズムの現状も把握（SPQによる）

○ 仕事を継続できる要素について、対象者が持ち合わせているかを評価できる

○ メリット・効果

人事担当者：対象者に対して、仕事継続に必要な支援を行うことができる。

高年齢労働者：仕事を継続するために必要な要素について、自身の状態を把握することができる（気が生まれる）。

⇒ ・不足している要素への取り組み（支援）につながる。

・充足している要素の自信につながる。

4つのカテゴリーの16項目の設問で構成

①就労継続に直接に関わり得る内容
（設問1・7・11・12）

②身体的な要素
（設問2・5・6）

③人間関係の構築・継続に関わる要素
（設問3・4・8・9・10）

④記憶力・認知機能に関する内容
（設問13・14・15・16）

※16項目のスコア化は、介護予防事業の基本チェックリストと相関があり、比較的元気な高齢者の詳細な評価に使用できる可能性がある。

No	項目	はい	いいえ
1	仕事をすることに生きがいを感じますか？		
2	転ぶことに対する不安がありますか？		
3	困ったときに、自分から他者に手助けを求めることができますか？		
4	困ったときに相談できる家族や友人がいますか？		
5	身体のどこかに一カ月以上続いている痛みがありますか？		
6	この一年間に転んだことはありますか？		
7	日中に眠気を感じることがありますか？		
8	他人の言動に対してすぐ頭にくることが多いですか？		
9	他人と協働するより、一人で行う仕事のほうが合っていると思いますか？		
10	新たな人間関係を作っていくことに不安はありますか？		
11	同じ作業を繰り返すのは退屈に感じますか？		
12	ちょっとしたことで気分が沈んだり落ち込んだりすることはありますか？		
13	同年代の人に比べ記憶力が落ちたと感じますか？		
14	新しい仕事の内容や作業手順を覚えることが苦手ですか？		
15	人や物の名前が出てこないことが、以前に比べて増えましたか？		
16	スポーツやゲームなどのルールを覚えることが苦手ですか？		



腰痛予防アンケート

Q1. 現在腰痛はありますか。

☐はい ☐いいえ

Q2. Q1ではいと答えた方にお伺いします。その腰痛は、3か月以上持続していますか。

☐はい ☐いいえ

Q3. 過去1年間で仕事中に腰痛がありましたか。

☐はい ☐いいえ

Q4. 腰痛は、どのような仕事内容・作業のときにありましたか。

(自由記載。具体的にご記入ください。)

Q5. 過去1年間で腰痛のために仕事中に支障がありましたか。

☐はい ☐いいえ (いいえの場合はQ9へ進んでください)



腰痛予防アンケート

Q6. あなた自身を感じる仕事量についての質問です。腰痛がないとき（通常時）と比べ、腰痛があるときの仕事量はどのくらいに制限されていますか。あてはまる番号を○で囲んでください。

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

全く仕事が出来ない

通常時

Q7. あなた自身を感じる仕事の質についての質問です。腰痛がないとき（通常時）と比べ、腰痛があるときの仕事の質はどのくらいに制限されていますか。あてはまる番号を○で囲んでください。

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

全く仕事が出来ない

通常時



腰痛予防アンケート

Q8.過去 1 年間で、腰痛のために仕事を休んだことはありますか。それは何日程度ですか。

□休んだことがある　（□連続4日未満　□連続4日以上）　□休んだことはない

Q9. 腰痛のために、今の仕事を続けていくことに不安はありますか。

☐ はい ☐ いいえ

Q10. 腰痛のために仕事を辞めようと考えたことはありますか。

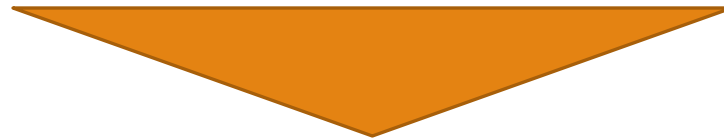
☐ はい ☐ いいえ

Q11. これまで腰痛予防に関するアドバイスを受けたことがありますか。

☐ はい ☐ いいえ

Q12. 腰痛がないときに発揮できる仕事の出来を100%として過去4週間の自身の仕事を評価してください。
% (1~100%)

-
- 「リハサク」のシステムを利用し転倒予防
 - 腰痛予防を中心とした自主運動のフォローアップ
(運動指導や相談、実施状況確認など) を実施



4か月後 最終評価を行い、結果を報告

評価項目

【質問紙調査】

- 日本理学療法士協会アセスメントシート
- 腰痛に関するアンケート

【実測テスト】

- 握力（上肢筋力の評価）
- 立ち上がりテスト（下肢筋力の評価）
- 片足立位テスト（静的バランス評価）
- ツーステップテスト（動的バランス 評価）
- Alpha fit test（上肢柔軟性の評価）
- FFD（下肢柔軟性の評価）

運動方法指導

- 「リハサク」を使用して自主トレーニング指導
- 「腰痛予防」「転倒予防」を中心に運動パッケージを作成
- 痛みや状況に応じて運動プログラムの適宜変更とフォローアップ
- アセスメントシート、腰痛アンケート調査および実測テスト結果を成果(アウトカム)として用いる
- フィードバック用冊子を作成し、自宅や空いた時間でも手軽にできるようにする

2023年度 スケジュール案

【随時ミーティング】

- ・日本理学療法士協会担当者
- ・支援事業所担当者
- ・チーム担当者 等

2023/2初旬
キックオフ
ミーティング

2023/5～12

・チーム会議(随時)

・事業所との打合せ(随時)

・事業計画作成

2023/9月末

県士会担当
者会議

2023/10月末

県士会担当
者会議

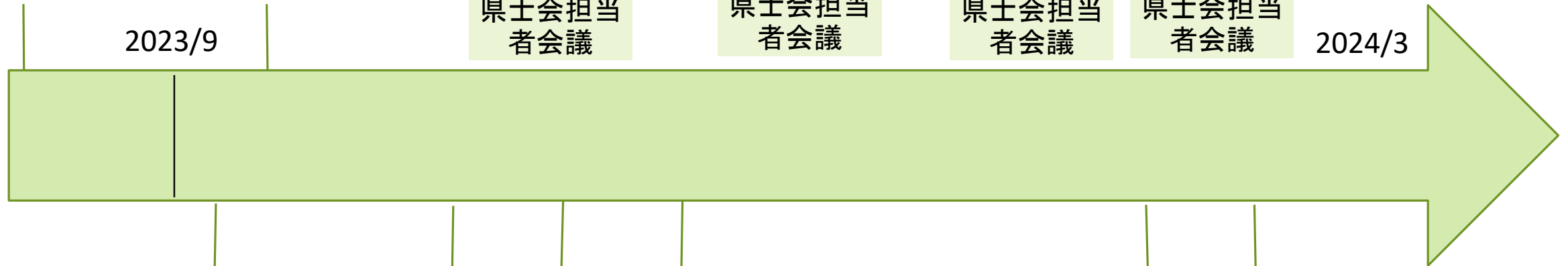
2023/12月末

県士会担当
者会議

2024/1月末

県士会担当
者会議

2024/3



2023/9
アンケート
調査発送

2023/9月末
アンケート
調査回収

2023/10
第Ⅰ期
支援開始

約4か月

2024/1
第Ⅰ期
支援終了

2024/3
第Ⅰ期
報告書作成

・第一回職場環境調査
2023/9月末

・第二回職場環境調査
2024/1月末

2024年度 スケジュール案

【随時ミーティング】

- ・日本理学療法士協会担当者
- ・支援事業所担当者
- ・チーム担当者 等

2024/4

- ・事業所へ結果報告
- ・第Ⅱ期に向けて打合せ

2024/4

2025/3



2024/7
第Ⅱ期
支援開始

約6か月

2024/12
第Ⅱ期
支援終了

2025/3
2024年度
報告書作成

マニュアル作成
他県士会支援

